

観光復興の拠点 浜の駅松川浦グランドオープン



相馬復興市民市場（愛称：浜の駅松川浦）のオープニングセレモニーは10月25日、同市場で開催され、関係者約30人が参加しました。

当日は、立谷市長が「市の復興の目印として、元気を発信していきます。市民と共に市場を育てていく心意気をもって運営していきたい」とあいさつし、鍵の引き渡しとテープカットを行ったほか、ホッキ貝の特売やマグロの解体が行われ、訪れた市民らで活気にあふ

れました。

同市場では、新鮮な地元農水産物をメインに、加工品などの地域商品、姉妹都市などの特産品を購入できるほか、フードコート「浜の台所くあせつと」では、地元農水産物を使ったメニューを味わえます。

11月はタイ、アンコウ、ドンコなど旬の生魚を中心に販売され、週末は市内外から多くの買い物客が訪れました。



彫刻作品の修繕 松川浦環境公園



松川浦環境公園の彫刻作品修繕は10月16日、同園で行われました。

修繕されたのは、チェーンソーアート協会の内藤済会長が手掛けたクマの彫刻で、東日本大震災の津波による塩害で枯れた園内のヒマラヤスギを活用して2014年に作られたもの。

当日は、同協会の佐藤優則さんが訪れ、クマの彫刻から雨などにより傷んだ部分を取り除いた後、新たに作り付けた木材をチェーンソーなどを使用して彫刻し、修繕を行いました。

第7回市町村対抗 福島県ソフトボール大会

惜しくもベスト4に届かず



勝利しました。

続く第3回戦は10月24日、小野町と対戦し、2回裏に先制されるも、3回表に同点。その後1点を失うも、5回表、3番斉藤亮汰選手の2点タイムリーヒットで逆転し、3対2で勝利しました。

準々決勝は郡山市と対戦し、初めに4失点という苦しい立ち上がり。4回に5番真壁好貴選手の2ランホームランなどで3点を返しましたが、相手の好打、好守によって3対12で敗退し、相馬市チームはベスト4進出を逃しました。

第7回市町村対抗福島県ソフトボール大会は10月17日、相馬光陽ソフトボール場で開幕し、県内48市町村が参加しました。

オープニングセレモニーでは、主催者の馬場憲明福島民報社常務取締役があいさつし、始球式を行いました。

相馬市チームは10月18日に初戦を迎え、田村市と対戦を繰り広げ、2回表に1失点するも、2回裏に7番持建有生選手の2点ランニングホームランにより逆転。その後も着実に追加点をあげ、8対4で



寄付ありがとう

被災高齢者の生活支援



株式会社W.D.I.の清水謙代表取締役社長は11月4日、市役所を訪れ、立谷市長へ寄付

消費拡大で街中に活気を スーパープレミアム商品券

がんばろう相馬！スーパープレミアム商品券は、10月18日から相馬商工会議所で販売され、初日は販売前から大勢の市民が集まり商品券を買い求めました。

当商品券は、相馬商工会議所が地域の活性化と消費の拡大を目的に販売したものです。※販売は終了しています。



金を手渡しました。

同社は、国内でハードロックカフェなどのレストランを運営しており、寄付金は、国内のハードロックカフェ各店で行われたプレスレット販売などによるチャリティ活動で集まった募金です。

同社は震災以降、運営する店舗で募金活動を行うなど、本市を継続的に支援しています。

寄付金は、被災高齢者の生活支援に活用されます。

地域の安全のために 市消防秋季検閲式



市消防秋季検閲式は10月18日、二の丸球場で開かれ、消防団員と女性消防隊など約400人が参加しました。

当日は、山田行雄消防団長の訓示に続き、立谷市長が「新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな対応を求められるが、正しい知識を持ち、力を合わせて共に頑張ってくださいませよう」と訓示し、通常点検を実施。

団員は、きびきびした動きで点検を行い、予防消防の重要性を認識するとともに、防災への士気を高めました。

新設したやな場でサケ漁

宇多川鮭増殖組合

今年の宇多川鮭増殖組合によるサケやな漁は10月26日、宇多川に設けたやな場で行われました。

サケは採卵用にするほか、県内外に出荷されます。

同組合は、令和元年東日本台風などによりやな場が流出したため、以前より1.5メートルかさ上げした高さ6・5メートルのやな場を新設し、10月19日よりサケのやな漁を再開。

当日は、15人の組合員が、やなにサケを追い込み、次々と引き上げました。



交通事故を減らす 交通事故防止街頭啓発

交通事故防止街頭啓発

パースィド相馬リボン店で行われ、関係者約15人が参加しました。

相馬地区交通安全協会、相馬警察署、市交通対策協議会の主催。

街頭啓発は、日没が早まるこの時期に、夕暮れや夜間に歩行者が被害に遭う交通事故が増加することから、買い物に訪れた方へチラシや反射材などを配りながら、交通事故防止を呼びかけました。

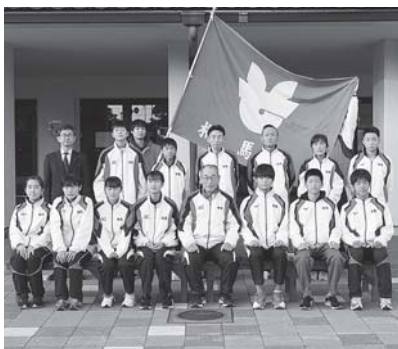


交通事故防止を呼び掛ける街頭啓発は10月22日、スー

タスキに思いを込めてふくしま駅伝

相馬市チーム敢闘賞受賞

11月15日に開催されたふくしま駅伝に参加した相馬市チームは、3時間2分3秒



昨年より1つ順位を上げた総合38位でゴールし、敢闘賞を受賞しました。

エース区間である3区の木内康介選手は、20年連続の参加を果たしたほか、1区の米山美幸選手は、女子最年長の参加となり、サントリー賞を受賞しました。

全体を指揮した武島監督は、「来年も一つでも順位を上げられるようにチームを作っていく」と講評をしました。

元気に「火の用心」 園児たちが防火パレード

秋季全国火災予防運動防火パレードは11月9日、市民会館などをスタート地点に開催され、消防関係機関や幼稚園、保育園の園児たちが火災予防を呼びかけました。

パレードは「秋季全国火災予防運動」の一環として開催され、市消防団や相馬消防署、市内の幼稚園と保育園から約250人が参加。

市街地は中村幼稚園、みどり幼稚園、原釜・尾浜地区は



みなと保育園が鼓笛パレードを行い、元気に火災予防を呼びかけました。

災害市営住宅の 払い下げ

山信田住宅



市災害市営山信田住宅譲渡調印式は10月25日、磯部小学校体育館で行われ、関係者約30人が出席しました。

立谷市長と払い下げを受ける住民を代表して岡田豊さんが譲渡契約書に署名し、契約を取り交わしました。立谷市長は「これからは災害市営住宅を自分の家として、安心して暮らしてください」とあいさつし、生沼裕福島復興局長が祝辞を述べました。

災害市営住宅の払い下げは、昨年の細田東住宅に続き3カ所目で、今回払い下げられる住宅は21棟です。

力を合わせてサトイモ収穫

日立木小

日立木小学校総合学習の農業体験は10月26日、大野地区のサトイモ畑で行われ、同小学校5年生13人が参加しました。

児童らは、ふくしま食育実践サポーターの菊地将兵さんから食の安全への取り組みや市の農業の話聞いたあと、自分の背丈ほどに伸びたサトイモの葉に苦戦しながら、力を合わせて収穫しました。



さんの好意で、児童らは各自持ち帰って味わいました。

生活環境の保全を図る 不法投棄監視員委嘱状交付式



われ、佐藤憲男副市長が監視員20人に委嘱状を交付しました。佐藤副市長は、「不法投棄を減らすため、事故などに気を付けながら監視活動をお願いします」とあいさつ。

同監視員は、生活環境の保全を図るために、不法投棄の早期発見および抑止・防止を目的とした監視パトロールや不法投棄者に対する指導勧告などの活動を行います。

市不法投棄監視員委嘱状交付式は11月5日、市役所で行

で。任期は令和4年10月31日まで。